



バリュエーション講座
ケース「晴海汽船株式会社」
第18回

第18回目講義のトピック

- 修正簿価純資産法の実施

修正簿価純資産法とは

主要資産の残高を時価で評価した際の
資産時価を企業価値とする手法

⇒ 今現在、企業の全資産を売却したらいくら
の現預金になるか

主要資産の時価把握がポイントとなる

本件における修正簿価純資産法の適用方針

本件においては主要資産である
船舶を時価評価した資産金額を算出する

- 主要資産である船舶を時価で評価する
- 操業停止を前提として営業債務は支払を実施する
- 船舶調整後の資産総額から営業債務を除いた金額を
債権者および株主に分配できる企業価値として算出する

2通りの計算方法実施 (1)

企業価値 = 株主価値 (時価総額) + 有利子負債

株主価値を純資産 (資本) と評価損益に分解すると...

企業価値 = (純資産 + 評価損益) + 有利子負債

⇒ 企業価値 = 修簿価純資産 + 有利子負債

上記の考え方に基づき純資産に評価損益を加味
(税効果を考慮する)

2通りの計算方法実施 (2)

企業価値 = 株主価値 (時価総額) + 有利子負債

仮に株主価値が純資産簿価と等しいとすると...

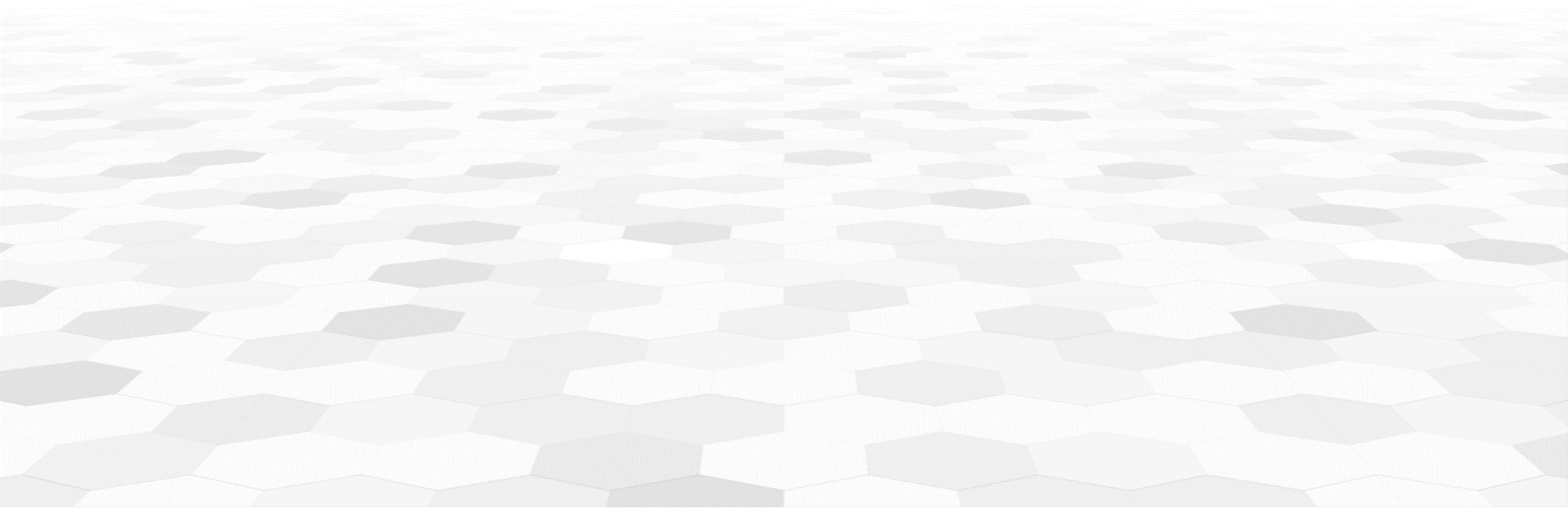
企業価値 = 純資産 + (負債 - 営業債務)

⇒ 企業価値 = 総資産 - 営業債務

上記の考え方に基づき総資産（一部）を時価評価
（税効果を考慮する）

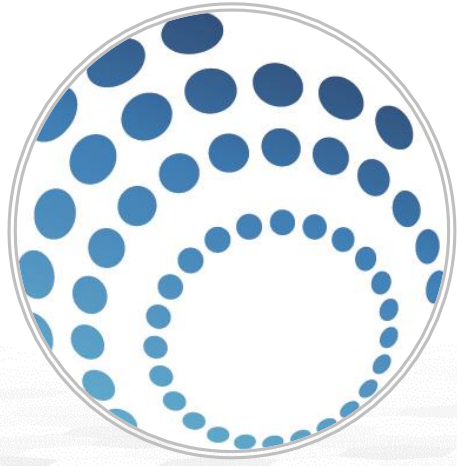
实训

質疑応答 - Q&A



講義まとめ

- 修正簿価純資産法とは、主要資産を時価で評価した際の修正純資産を元にして企業価値を計算する手法
- **企業の清算価値が前提とされる場合が多く、時価評価をする際には売却損益に係る税効果を考慮する**



バリュエーション講座
ケース「晴海汽船株式会社」
第18回

終了